

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001849
事業所名	グループホームやすらぎの里 中野新町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	近隣の神社や喫茶店、「二の市」等、地域への外出機会が多く、その際に地域の住民と挨拶を交わしたり話をしたりしている。 地域のボランティアも頻りに訪れており、フラダンスや落語、マジック、腹話術等で、利用者を楽しませている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は毎偶数月に開催されており、6回のうち4回は日曜日に開催されている。 家族の参加は乏しいが、地域包括支援センター職員や町内会長、民生委員、地域代表等が参加している。 ホームからの各種報告に続き、参加者による意見交換が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議が日曜日に開催されることが多いため、平日の開催日に地域包括支援センターの職員が参加し、ホームの状況を聞き取っている。 生活保護受給者が3名入居しており、区の保護係と連携し、綿密な情報交換を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	本年1月から運営母体が変わったが、家族からは特段の意見もなく、円滑に移行が行われた。 夏祭り等のホームイベントには家族が集まるが、ホームの呼びかけはあっても運営推進会議には参加者が少ない。 毎月「やすらぎの里新聞」を発行し、ホームの活動状況や利用者の近況を家族に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎